

『夢への道』

古枝小学校 6年 山田 緋依

私の将来の夢は美容師になることです。私は小さい頃から美容師になることを夢みており、早く大人になりたいと思うとともに、七夕の時は、毎年のように「美容師になれるように」と書き続けてきました。

しかし、6年生になった頃から、夢をあきらめそうになることが増えてきました。私は、友達と関わるのが苦手で、自ら話しかけることができません。美容師という仕事は、お客さんと接することがとても大事なのに、人と関わるのが苦手な私が美容師になっていいのだろうか、一人で悩んだり落ち込んだりすることもあります。

でも、そんな私をいつも支えてくれる二人の人がいます。一人は「お姉ちゃん」です。私には高校生の姉がいます。姉はいつも笑顔で私に寄りそい、私が不安に思うことをしっかり聞いて優しく励ましてくれます。姉と話していると、それまで悩んでいたことも忘れ、美容師になっても大丈夫だと思えます。そんなふうにチャレンジする勇気を姉は与えてくれます。

もう一人は「あこがれの友達」です。その友達は、昼休みに私のそばにいたり、図書室に一緒に行ってくれたりします。また、友達との接し方が上手で、私以外の友達にも優しく声をかけています。その姿を見て、私は人との関わり方を学ぶことができています。

まだまだ積極的に人と接することができませんが、私の支えとなり、夢に向かって進むための力を与えてくれる二人に対して心から感謝しています。

これから先も立ち止まってしまうことがあるかもしれませんが。そんな時は、姉や友達、周りの人達から少しずつ勇気をもらいながら、自分から人と関わるようにチャレンジしていくなどして、小さな頃からの夢に向かって努力していきたいと思います。